

2月市議会定例会

一般質問

3月2日(火)から3月4日(木)の3日間の日程で、11人の議員が一般質問を行いました。紙面では一部の質問を要約して紹介しています。なお、未掲載の質問については、会議録やホームページをご覧ください。

3月2日(火)

自民クラブ(代表質問)
近藤 司議員(40分)



(1) 新型コロナウイルス感染症対策について

問 本市では「新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置して、感染防止と経済の再生、生活再建に取り組んでいるが現在の取り組み状況と課題について尋ねる。併せて今後予定されている新たな支援策についても伺う。

答 小中学校の休業などの感染拡大防止対策、および特別定額給付金などの各種支援策などを実施してきたが、感染拡大が長

期化し、ワクチンの接種体制整備や地域経済の立て直しが喫緊の課題である。今後の支援策については、プレミアム付商品券の発行などにより、経済回復を目指し取り組みたい。

(2) 財政状況と今後の財政運営について

(3) 別子山地域の再生について

(4) 港湾の整備について

(5) 防災・減災対策の推進について

(6) 企業用地の確保について

(7) 人口減少対策について

問 人口を維持するためには合計特殊出生率を2・07人まで上げなければならない。第3子以上の多子家庭に対する経済的支援の充実が必要だが、今後の具体的な取り組みについて伺う。

答 2歳以下の第3子の保育所保育料について、小学3年生までの子供が3人いる場合は無料とし、国の基準より拡大している。今後は、高校生などまで子ども医療費助成を拡充するなどの新規事業に取り組みたい。

(8) 幹線道路の整備促進について

(9) 公共下水道事業の経営健全化について

公明党議員団(代表質問)
藤原 雅彦議員(40分)



(1) 経済対策と健全財政の維持について

問 これからの新居浜市の健全財政の維持についてどのような取り組みでいくのか。具体的なものがあるのか伺う。

答 歳出抑制と歳入確保に努めることが肝要であると考えており、経常経費も含めたスクラップ・アンド・ビルドによる事業の見直しに取り組みとともに、国庫補助金や有利な地方債の活用はもとより、さまざまな財源確保に努めていく。

(2) 地域組織の運営について

(3) 防災、減災について

(4) 新型コロナウイルスワクチン接種について

(5) 健康寿命の延伸について

問 日常生活における生活支援について、高齢者に対して新居浜市が独自に行っている生活支援サービスにはどのようなものがあるのか伺う。

答 市独自のサービスとして、介護保険サービスと同等のホームヘルパーによる生活支援を行う訪問型サービス事業、デイ

サービスにより機能訓練などを行う通所型サービス事業、専門職が短期集中的に訪問して生活改善を支援する生活いきいき訪問を実施している。

(6) 摂食障害対策について

(7) 行政手続における押印廃止について

(1) 施政方針について

問 時代の大きな変革においてデジタル社会の実現が非常に大きな役割を担い、DXの巧拙が今後の明暗を大きく分ける中、価値観を押し付けず部局にとらわれない市役所全体での風土の醸成が必要であるがご所見はいかがか。

答 特命副市長をトップとしてDXに前向きな考え方や先進的技術の取得を目指す職員によるプロジェクトチームを今年度設置し、部局を超えたさまざまなアイデアや取り組みにより、本市のDX政策を進めていきたいと考えている。

(2) 新型コロナウイルス禍からの

新居浜の未来を考える会
(代表質問)
神野 恭多議員(40分)



3月3日(水)

反転攻勢について

- ① 新型コロナウイルススワクチン接種
- ② 事業者支援
- ③ 観光振興
- ④ 移住促進
- ⑤ 子育て支援
- ⑥ 学校教育の充実

- ③ フリースクールについて

問 行き詰まった子供たちに対し、学校が現在の適応指導教室のようにフリースクールという選択肢を提示する体制構築の可能性や誰一人取り残さないため、設立しやすい支援や環境の整備が必要とを感じるが考えを伺う。

答 児童生徒が多様な選択ができるよう、フリースクールなどとの連携を進め、体制が構築できるとの検討していく。また設立支援や環境整備には、財政面、人材面での対応が必要となるため、現時点では難しい状況だが、県の実施事業の動向なども注視していきたいと考えている。

- ④ 成年後見制度の利用促進について
- ⑤ 成人式について
- ⑥ 大学の誘致について

自民クラブ
藤田誠一議員 (30分)



(1) 市長公約の実現に向けて

問 大型公共事業の必要性や現状をどのように市民に説明され、具体的にどのような形で推進されるのか。大型予算も必要になり、推進体制や反対意見への説明など課題は多くあるが市長の率直な意見をお聞きする。

答 大型公共事業の実施に当たっては、多額の事業費、期間を要することから、財政状況や社会経済情勢などを十分に勘案し取り組むとともに、必要性や現状について、校区懇談会などあらゆる機会を捉え、市民の皆さんに説明責任を果たしながら、着実に事業を進めていく必要があるものと考えている。

(2) 新型コロナウイルス禍におけるイベント開催について

- ① 成人式
- ② 花火大会
- ③ 春は子ども天国、新居浜太鼓祭り

問 成人式開催の現時点での方向性と延期開催する際の成人式関連業界への周知方法は。花火大会開催の現時点での方向性と開催可否のタイムリミットは。春は子ども天国、新居浜太鼓祭りの開催可否の判断基準は。

答 成人式は、午前と午後2部制とし、さまざまな媒体で周知を行う。花火大会は、5月上旬を判断期限と考え、時期の変更も含め協議していく。春は子ども天国は、地区運行に限定した開催など、実施に向け支援していく。太鼓祭りの開催は、ワクチン接種による感染症抑止効果などを踏まえ判断していく。

- (3) 新型コロナウイルス禍における働き方について
- (4) 新居浜駅開業100周年記念事業について
- (5) マイナンバーカードとあかがねポイントについて

無党派
井谷幸恵議員 (10分)



(1) 生活保護について

- ① 現状
- ② 扶養照会の問題点
- ③ 困ったときに申請できる対策

(2) 介護保険制度について

- ① 制度開始から20年の振り返り
- ② 不安への対応
- (3) 教職員の増員について
- ① 学校支援員等
- ② 学校の実情に合わせた配置

公明党議員団
高塚広義議員 (30分)



(1) デジタル化の恩恵を享受できる社会づくりについて

問 国は令和2年度から情報弱者を対象にスマホなどの使い方を分かりやすく教える講習会を開催している。本市でも、高齢者や障がい者の方に、行政のオンライン手続きが簡単に行えるように、講習会を開催すべきでは。

答 高齢者を対象としたスマホ初心者教室、聴覚障がい者へのIoTを活用した行政相談サービスなどを実施してきたが、今後も、ニーズ調査を行い、スマホ教室や相談会など、高齢者などのデジタル活用支援に取り組んでいきたいと考えている。

(2) 技術部門向上のための職員配置・育成について

- (3) 介護タクシー事業者との災害時輸送協定について

問 災害発生前や災害時の要配

慮者への支援策として、介護タクシー事業者のような民間活力の利用が必要と考える。より迅速な要配慮者の輸送のため、介護タクシーグループと災害時輸送協定を締結すべきと考えるかどうか。

〔答〕 要配慮者の一般避難所から福祉避難所への移送について、ご家族や自治会など地域の方による移送が困難な場合、人員確保が重要な課題となっているため、介護タクシー事業者との協定締結に向けて協議を進めたいと考えている。

(4) 消防行政について

① 救急ワークステーションの整備

② 新型コロナウイルス感染症に係る救急搬送

③ ハラスメント対策

(5) 教育行政について

① GIGAスクール構想

② 学習障がいや不登校児童の支援

支援

自民クラブ

越智克範議員 (30分)



(1) 新型コロナウイルススワクチン接種について

(2) 総合戦略及び行政改革大綱について

① 第1期総合戦略の総括

② KPIの達成状況

③ 行政改革大綱の達成状況

(3) 地球温暖化対策について

問 本市の地球温暖化対策をさらに効果的に進めるために、温室効果ガス総排出量の削減とともに、2050年に二酸化炭素排出量実質ゼロを目指し取り組みを強化しなければならぬ。今後の対策はどのように考えているか。

〔答〕 市民、事業者に対する再生可能エネルギー設備の導入支援や公共施設への積極的な導入、バイオマスエネルギーの利用拡大に取り組むほか、本市独自の対策として、令和3年度から本庁舎や市有施設に高効率照明を導入するとともに、引き続き電動アシスト自転車の購入補助を行っていく。

(4) 消防力の強化、充実にについて

① 女性消防吏員の採用

② 消防団員の確保

問 地域防災体制の中核を担う消防団員の確保は、今後懸念される南海トラフ地震などの大規模災害時に大きな役割が期待さ

れる。しかし、消防団員数は減少に歯止めがかからない状況である。今後の対策はどうか。

〔答〕 消防団の知名度、イメージアップを図るため、これまで市政だよりの特集記事や県が作成した消防団のPR動画のYouTube放映などを行っており、他の方法も含め引き続き実施するほか、国において検討されている出動手当の増額について、調査研究を進めていく。

3月4日(木)

新居浜の未来を考える会
米谷和之議員 (30分)



(1) 子どもの貧困について

① 現状

② 対策

③ (仮称) 子どもの貧困対策推進計画の策定

推進計画の策定

問 7人に1人が「子どもの貧困」状態にあるといわれる中、子供たちとその家庭に対し、経済、教育、就労などの支援を総合的に進める「(仮称)新居浜市子どもの貧困対策推進計画」を早急に策定すべきではないか。

〔答〕 子どもの貧困対策法改正や

子供の貧困対策に関する大綱の策定を受け、第2期新居浜市子ども・子育て支援事業計画の間見直しを行う令和4年度に、子どもの貧困対策推進計画を策定する予定としている。

(2) 道路沿いや空き地等へのベンチの設置について

問 高齢者の散歩や外出を促し、健康づくりを推進するために、また、自治会員などのコミュニケーションを促進するために、自治会からの要望に応じ、ベンチを自治会館前や自治会内の空き地などに設置してはどうか。

〔答〕 自治会からの要望に応じたベンチの設置には、集会所等整備事業補助金やコミュニティ活性化事業交付金の活用も考えられるため、具体的な要望に応じて検討したいと考えている。

自民クラブ

仙波憲一議員 (30分)



(1) 新型コロナウイルス感染症と本市の現状について

① 新型インフルエンザ等対策行動計画の検証と実効性

問 新居浜市新型インフルエンザ等対策行動計画を策定してお



新居浜市議会

←新居浜市議会のホームページへ
映像配信や会議録でさらに詳しく！

問 あかがねポイントも市民ニーズに合わせて政策転換が必要。現制度では事業者や利用者のメリットが少ない。ポイント流通促進のため、利用者に喜ばれる現金チャージ導入など地域通貨を加味した制度に見直す考

- ②あかがねポイントの利活用**
- ③あかがねポイントについて**
- ①公共交通とあかがねポイントの活用
 - ②スマートシティーと業務改革
 - ③市民ニーズと行政の役割
 - ④テレワークの推進とマネジメント改革

答 新型コロナウイルス感染症対策についても、行動計画に基づき、対策班や対策本部を設置し、本市の基本方針を定め、取り組んでいる。現在、感染拡大が長期化し、収束に至っていないため、行動計画に関する評価は、今後行うこととしている。

◎新居浜市議会議員の通称名等の使用取扱要綱を制定しました

地方議会への女性参画が進む中、婚姻などによる旧姓での議員活動実施を希望する事例など

- (1)市長と市民との意見交換会について
- (2)オンライン学習支援事業について
- (3)西部学校給食センターについて

答 新型コロナウイルス対策第3弾となる3月のキャンペーンに合わせ、市内に2カ所の窓口を設け、現金チャージを可能にした。今後も、利用者、事業者の双方が利用しやすい制度になるよう、適宜制度の見直しを実施していきたいと考えている。

無党派
小野志保議員（10分）



無党派
片平恵美議員（10分）



| 6月市議会定例会 | |
|--|------------------------|
| 時間 午前10時開会 本会議はCATV112チャンネルで生中継と録画放送、市議会ホームページで動画配信を行っています。 | |
| 開催日 | 内容 |
| 6月7日(月) | 議案上程、説明、質疑、委員会付託 |
| 6月15日(火) | 一般質問 永易 英寿 議員(30分) |
| | ・予算質疑 黒田 真徳 議員(30分) |
| | 神野 恭多 議員(30分) |
| 6月16日(水) | 一般質問 田窪 秀道 議員(30分) |
| | ・予算質疑 井谷 幸恵 議員(10分) |
| | 河内 優子 議員(30分) |
| | 片平 恵美 議員(10分) |
| 6月17日(木) | 一般質問 合田晋一郎 議員(30分) |
| | ・予算質疑 伊藤 優子 議員(30分) |
| | 小野 志保 議員(10分) |
| 6月18日(金) | 企画教育委員会開催 市民福祉委員会開催 |
| 6月21日(月) | 経済建設委員会開催 |
| 6月24日(木) | 委員長報告、討論、採決 |

◎新型コロナウイルス感染症に係る事業者支援拡充について要望を行いました

4月16日(金)、新居浜市議会として、市長に対し、感染症の影響を受けた市内事業者に対する速やかな経済支援などについて

に対応するため、「新居浜市議会議員の通称名等の使用取扱要綱」について、3月18日(木)開催の議員全員協議会にて全会一致で決定し、4月1日から施行しました。

議事課
☎ 65-1321
☎ 65-1322



要望書提出の様子